



◎単行本ビジネス◎

	書名	著者	定価(税込)	出版社
1	 大人の語彙カイト つい「大変」「すごい」など使っていて、言葉が足りないと感じている方に。たとえば、ビジネスで「わかりません」というと、頼りなく感じますが、「不勉強で申し訳ございません」というとききちんとした印象が生まれます。日常のあらたまったシーンで使える言葉、上品に感じるやまとことば、相手の気持ちを害さない言い回しなど、実践的に使い方を紹介します。	齋藤孝	1,404	SBクリエイティブ
2	 日本再興戦略 AI、ブロックチェーンなどテクノロジーの進化、少子高齢化、人口減少などにより、世界と日本が大きく変わりつつある。今後、世界の中で日本が再興するにはどんな戦略が必要なのか。テクノロジー、政治、経済、外交、教育、リーダーなどの切り口から日本と日本人のグランドデザインを描く	落合陽一	1,512	幻冬舎
3	 お金2.0 本書ではまずお金や経済の仕組みから、テクノロジーの進化によって生まれた「新しい経済」のカチ、最後に私たちの生活がいかに変わるか、の順番に解体していきます。	佐藤航陽	1,620	幻冬舎
4	 SHOE DOG 靴にすべてを。 スタンフォード大MBA卒のエリートでありながら、なぜあえて靴のビジネスを選んだのか？しかもかつての敵国、日本の企業と組んでまで。「日本のシューズをアメリカで売る」。馬鹿げたアイデアにとりつかれた男の人生を賭けた挑戦が、このとき始まった！ ビル・ゲイツ 称賛！2016年おすすめ5冊に選出！	フィル・ナイト 大田黒奉之訳	1,620	東洋経済新報社
5	 2000社の赤字会社を黒字にした社長のノート 仕事で「おやっ」と思ったことを、27歳から書き留め、社長になってからも書き続けたOYATTO NOTE(おやっノート)。2000社の赤字会社を再生させた「プロの仕事術」をこの一冊に完全収録！利益出せる人、出せない人の違いとは？プロフェッショナルになるための134の仕事術。	長谷川和廣	1,404	かんき出版

◎新書フィクション◎

	書名	著者	定価(税込)	出版社
1	 日本史の内幕 西郷隆盛の性格は、書状からみえる。豊臣秀頼の父親は本当に秀吉なのか。著者が原本を発見した龍馬の手紙の中身とは。司馬遼太郎と伝説の儒学者には奇縁があった—日本史にはたくさんの謎が潜んでいる。著者は全国各地で古文書を見・解説し、真相へと分け入ってゆく。小説や教科書ではわからない、日本史の面白さ、魅力がここにある！	磯田道史	907	中央公論新社
2	 不死身の特攻兵 太平洋戦争の末期に実施された“特別攻撃隊”。戦死を前提とする攻撃によって、若者たちが命を落としていった。だが、陸軍第一回の特攻から計9回の出撃をし、9回生還した特攻兵がいた。その特攻兵、佐々木友次氏は、戦後の日本を生き抜き2016年2月に亡くなった。なぜ、軍では絶対である上官の命令に背き、命の尊厳を守りぬけたのか。	鴻上尚史	950	講談社
2	 中華思想を妄信する中国人と韓国人の悲劇 アメリカ人という立場から東アジアの人々を俯瞰的に見たとき、著者は、「日本人と中韓の人々とは全くの別物である」という事実気づいた。そしてその背景には、人類学的なDNA以上に、文化的な違いがあることを発見した……そう、それが「中華思想」と「儒教」だ。	ケント・ギルバート	886	講談社
3	 日本軍兵士 310万人に及ぶ犠牲者を出した先の大戦。実はその9割が1944年以降と推算される。異常に高率の餓死、30万人を超えた海没死、戦場での自殺「処置」、特攻、劣悪化していく補充兵、靴に鯨皮まで使用した物資欠乏……。勇猛と語られる日本兵たちが、特異な軍事思想の下、凄惨な体験をせざるを得なかった現実を描く。	吉田裕	734	中央公論新社
2	 妻に捧げた1778話 余命は一年、そう宣告された妻のために、小説家である夫は、とても不可能と思われる約束をする。しかし、夫はその言葉通り、毎日一篇のお話を書き続けた。妻のために書かれた一七七八篇から選んだ十九篇に、闘病生活と四十年以上にわたる結婚生活を振り返るエッセイを合わせた、ちょっと風変わりな愛妻物語。	眉村卓	734	新潮社